

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ③⑩
『Just be yourself with your story』

今月の言葉 『あなたの物語をあなたらしく生きる』

(西原さつき)

今年の津島市人権教育研究会の講演会は、西原さつきさんからトランスジェンダー（トランスとは「逆側に行く」「乗り越える」という意味。性を乗り越える）についてお話を伺いました。「あなたらしく生きる」ということが大きなテーマとなっていました。

「この人生だから気が付けた」

「自分の言葉にするとその後の幸福度はずっと高まる」

「自分に魔法をかけてなりたいたい自分になっていいんだよね」

素敵な言葉をいっぱい頂きました。トランスジェンダーの方がどのような事に悩み、どんな気持ちでいるか、経験をもとにお話を伺うことが出来ました。自分の性に違和感を覚え、悩んでいる友達が身近にいることをあらためて知りました。

浜松に住んでいる人から、自分の家のすぐ近くの神社が津島神社という名前であったとメールが来ました。津島神社は全国に 3,000 の末社があります。津島神社の末社は、東は福島から西は滋賀の辺りまで広く分布しており、特に静岡県・長野県に数多くあります。例外として松江と熊本にもあり、この二つの街を造った武士の中に津島出身者がいたからと言われていています。

以下は 10 月に愛知県社会科研究大会でお話する「天王様の秘密」の内容です。津島神社が、そして尾張津島天王祭が、全国的に有名となったのは、江戸時代に「津島御師」（つしまおし）と呼ばれた人たちの活動によります。御師とは「御祈祷師」（ごきとうし）を短くした言葉で、遠い土地まで津島神社のお札を配り、津島神社への参拝を促しました。参拝にみえた信者の方たちを御師の館に泊め、神楽を見せ、名所に連れていきました。現在で言うならシャーマンが旅行エージェントやツワー・コンダクターのような役割も果たしました。お札を配る時には、筆や紙、薬や小物なども届け、「疫病退散」を願う牛頭天王信仰を広げました。津島神社の他、伊勢、熊野、富士、出雲なども有名で、その社寺のために祈祷や案内を行っていたようです。

令和 4 年 9 月 8 日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視